

磐越自動車道 熊渡地区地すべり検討業務

特 記 仕 様 書

令和 7 年 7 月

東日本高速道路株式会社 新潟支社

新潟工事事務所

第1章 総則

1-1 履行内容

- 1-1-1 調査等名 磐越自動車道 熊渡地区地すべり検討業務
- 1-1-2 路線名 高速自動車国道 東北横断自動車道 いわき新潟線
- 1-1-3 履行箇所 自) 新潟県東蒲原郡阿賀町谷沢 (STA601+80)
至) 新潟県阿賀野市新保 (STA750+42)

1-1-4 主な履行内容

内訳書の項目		数量	備考
地すべり検討	現地踏査	1式	
	安定解析	1断面	
	対策工法の検討	1対策箇所	
	トンネル構造および施工方法検討	1箇所	
工事発注用図面作成	図面修正A	33枚	
観測計画A		1箇所	
観測計画B		1箇所	
観測計画C		1箇所	
観測計画D		1箇所	
設計打合せ		1式	

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和7年7月版とする。

1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-12-4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム（以下「テクリス」という。）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日（以下「休日等」という。）及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

(1) 受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内

(2) 登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内

(3) 完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

1-4 履行期間

本業務は、共通仕様書 1-1-3 「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から 10 日以内に、履行期間通知書（本特記仕様書様式-1）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から 300 日間（まで）

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から 60 日間（まで）

1-5 主任補助監督員の権限

共通仕様書 1-6-3 の規定に基づき主任補助監督員に委任した権限は次のとおりである。

(1) 契約書に規定する監督員の権限のうち、下表の事項

条	項 目	内 容
1-13-2	作業日	・休日等の作業の確認

1-6 資料の貸与

共通仕様書 1-1-5-1 及び 5-2-3 「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表および参考図に示すとおりとする。なお、履行期間中業務においては貸与予定日であり、変更がある場合は別途監督員より通知する。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
設計報告書	磐越自動車道 長谷地区施工計画検討業務	契約締結後	電子成果品
設計報告書	磐越自動車道 西山トンネル詳細設計	契約締結後	電子成果品
設計報告書	磐越自動車道 長谷地区土質調査	契約締結後	電子成果品
簡易維持性能確認試験結果報告書	磐越自動車道 長谷地区土質調査	R7.9 頃	電子成果品

※上記の日数は土曜、日曜、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日、１２月２９日から翌年１月３日まで、夏期休暇（３日）を除く

１－７ 受注者相互の協力

共通仕様書１－２０「受注者相互の協力」の「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知するものとする。

調査等業務名	履行期間	受注者	発注機関	備考
磐越自動車道 長谷地区附帯工設計	R6. 10. 8～ R7. 11. 1	信和設計 (株)	東日本高速道路 (株)	
磐越自動車道 長谷地区土質調査	R6. 7. 10～ R7. 7. 31	国土防災技術 (株)	東日本高速道路 (株)	
磐越自動車道 三川～安田間施工計画検討	未定	未定	東日本高速道路 (株)	
磐越自動車道 長谷橋構造検討業務	未定	未定	東日本高速道路 (株)	

１－８ 計画工程表

１－８－１ 計画工程表の記載事項

共通仕様書１－１４－１「作業計画書の提出」（２）に示す作業計画書中の計画工程表（本特記仕様書様式－２）の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書１－６「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、共通仕様書１－９－３「照査の実施」に基づく照査の実施時期及び共通仕様書１－２２「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

設計種別	項目	備考
地すべり検討	現地踏査	
	安定解析	
	対策工法の検討	
	トンネル構造および施工方法検討	
工事発注用図面作成	図面修正 A	
観測計画 A		
観測計画 B		
観測計画 C		
観測計画 D		
設計打合せ		

1-8-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1-2-2 「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、調査等打合簿に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-1-4-3 「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

1-9 打合せ簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1-2-2 「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等を除く）に受注者へ返送するものとする。

1-10 工事記録情報の作成及び提出について

受注者は共通仕様書 1-4-4-1 に規定に従って、「工事記録収集システム」へデータ入力を行うものとする。また、業務完了までに「工事記録作成要領」に従って「工事記録情報 完了届」（本特記仕様書様式-3）を完了届提出予定の 2 週間程度前までに監督員に提出するものとする。その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い速やかに修正を行うものとする。工事記録収集システムに関する問合せ先は、当社が協定締結した「保全点検業務等の実施に関する協定」に規定する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

1-11 三者協議会について

本調査等の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において発注者及び受注者並びに予定工事に受注者が協議して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議」（以下「三者協議会」という。）を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途監督員及び受注者並びに予定工事の受注者とで協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

第2章 業務細部に関する事項

2-1 業務の概要

本業務は、熊渡地区のトンネル構造および施工方法について、新たに実施した地すべり法面の現況調査結果を踏まえて既往設計成果の精査を実施し、新たに必要となる地すべり抑止工の詳細設計やトンネル設計図面の修正等を行うものである。

2-2 地すべり検討

2-2-1 現地踏査

本業務における現地踏査は共通仕様書5-3道路設計に準拠し下表のとおりとする。

道路設計の種別	平地部の 道路延長	山地部の 道路延長	急峻山地部の 道路延長
I期線工事完了後のII期線部詳細設計	0.2 km	0 km	0 km

2-2-2 安定解析

安定解析とは、新たに実施した地すべり法面の現況調査結果を踏まえて、新たに設定する複数パタンの現況および施工中計画安全率に加えて下表のトンネル構造案を反映し、熊渡トンネル付近の地すべり土塊に対する安定解析を行うものをいう。

安定解析の検測数量は、解析を行った断面数（断面）とする。

断面数	トンネル構造案
1断面	NATM工法 (参考図4/18の山岳トンネル構造案参照)
	開削工法 (参考図2/18の開削トンネル参照)

※完成時安全率は $F_s \geq 1.20$ とする

2-2-3 対策工法の検討

対策工法の検討とは、2-2-2の結果を踏まえて、各検討パターンにおいて最も効果的と考えられる地すべり対策工法について検討するものとする。

対策工法の検討の検測数量は、検討を行った箇所数（対策箇所）とする。

2-2-4 トンネル構造および施工方法検討

トンネル構造および施工方法検討とは、既往業務において作成されたトンネル構造および施工方法検討比較表に2-2-2および2-2-3の結果を反映するほか、必要に応じて新たな評価要素を追加して更新するものをいう。なお、本資料はトンネル構造および施工方法検討を決定するために有識者委員会に諮問するための資料として使用するものとする。

トンネル構造および施工方法検討の検測数量は、1式（式）とする。

有識者委員会の予定は下表のとおりとする。

予定時期	諮問する内容	備考
令和 8 年 1 月	トンネル構造および施工方法検討比較表の説明	
令和 8 年 3 月	トンネル構造および施工方法の決定	

2－3 工事発注用図面作成

共通仕様書 5－1 1－1 に記載の図面修正の種別に下表を追加する。

種別	図面の修正率	図面の区分	備考
図面修正 A	10%未満	平面図、横断面図、積算用横断面図、撤去工平面図、地すべり対策工標準横断面図、杭列縦断面図	簡易

2－4 観測計画

観測計画とは、下表に示す箇所に対しⅡ期線施工に伴う変状の観測機器の設置計画、観測頻度及び管理基準値を検討するもの。

項目名	対象箇所	摘要
観測計画 A	STA662+49～STA664+20 間の施工時における地すべり土塊及び鹿新線 No. 53（鉄塔）に対する観測計画	
観測計画 B	STA662+49～STA664+20 間の施工時における町道長谷本線及びⅠ期線への観測計画	
観測計画 C	西山トンネル施工時におけるⅠ期線への観測計画	
観測計画 D	長谷トンネル施工時におけるⅠ期線への観測計画	

観測計画の検測数量は、観測計画を行った箇所数（箇所）とする。

2－5 打合せ

本業務における打合せの回数は業務内容確認検査を含め、3 回とする。打合せの検測数量は 1 式とし、履行状況により打合せ回数が増減しても打合せ費用の変更は行わないものとする。ただし、監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱い監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

2－6 成果品

報告書の表紙は、薄青色黒文字製本とする。

地すべり検討の成果品は共通仕様書 1－4 6 に示す成果品及び下表のとおりとする。

（1）成果品一覧表

設計種別・項目	成果品項目	出力時の縮尺 （分の 1）	出力用紙 の大きさ	尺度	提出 部数	摘要
安定解析	検討パターン図	－	A 3	－	1	
	検討報告書	－	A 4	－	1	
対策工法の検討	検討パターン図	－	A 3	－	1	
	検討報告書	－	A 4	－	1	
トンネル構造およ	工法比較表	－	A 3	－	1	

び施工方法検討	検討報告書	—	A 4	—	1	
図面修正	詳細設計図	—	A 3	—	1	
	設計計算書	—	A 4	—	1	
	数量計算書	—	A 4	—	1	
観測計画	観測計画書	—	A 4	—	1	

第3章 補足事項

3-1 設計内容の変更及び追加について

下記に示す事項については、本業務に変更・追加する可能性があるので、受注者は監督員と綿密な連絡をとると共に、これについて、監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとし、これらに要する費用は発注者と受注者との協議し定めるものとする。

- (1) 地すべり法面の現況調査結果やそれを踏まえた検討結果、および有識者検討会諮問結果を踏まえた2-2-2、2-2-3、2-2-4、2-3、2-4の追加・変更

様式－1

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 新潟支社
支社長 殿

住所
会社名
代表者

履行期間通知書

調査等名 磐越自動車道 熊渡地区地すべり検討業務

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2－1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2－2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3－1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3－2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3－3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日) (3－2. 受注者が設定した業務の終期)

1 設計業務

[illegible]

2 関連業務資料

[illegible]

3 貸与資料

[illegible]

4 關係機關協議

[illegible]

4 その他懸案事項

[illegible]

5 協議内容、結果等

協議内容経緯等	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者
	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果

[illegible]

※作成時の留意事項

① 関係機関協議については該当事項をその都度記入のこと

② 協議待ちによる遅延の場合工程上のクリティカルを明示すること。

③ 工程計画に大幅な変更が生じた場合、協議時に発注者に提示し確認を行うこと。

6 照查内容

照査時期、照査内容、照査結果	照査① ・照査時期：基本条件、設計条件検討時 ・照査内容：基本条件の照査 ・照査結果：	照査② ・照査時期：設計方針、最終形式決定時 ・照査内容：細部条件の照査 ・照査結果：	照査③ ・照査時期：成果品納入前 ・照査内容：成果品の照査 ・照査結果：
----------------	---	---	--

監督員
_____ 殿

受 注 者
管理技術者
_____ 印

工事記録情報 完了届

下記の調査等名について、工事記録情報の作成が完了致しましたので提出致します。

発 注 者 名		東日本高速道路(株) 新潟支社	
調 査 等 名		磐越自動車道 熊渡地区地すべり検討業務	
No.	工 種 名	工事情報(テーブル名)	数 量

※発注時より履行内容に変更が生じる場合は、変更特記仕様書や変更数量表を添付する。